

News Release

2022年2月24日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

減少傾向から一転、2年連続事故増加 ～配線器具の火災に注意！！～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

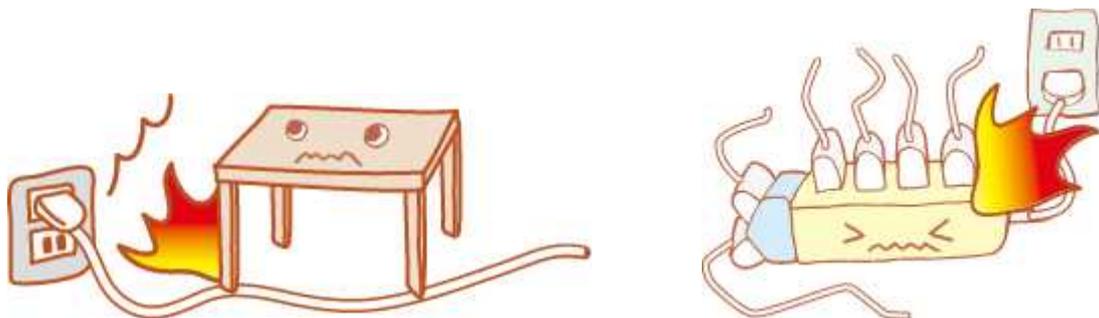
テーブルタップ・延長コードなどによる事故（以下「配線器具^{※1}の事故」という）が毎年発生しています。独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE（ナイト））に通知のあった製品事故情報^{※2}によると、2016年から2021年の6年間に配線器具の発火事故は250件ありました。同じ期間に東北地域でも、配線器具の事故が11件発生しています。コロナウイルス感染対策に加え、昨今の大雪の状況によりテレワークの普及・増加が増えると思いますので、配線器具をご利用の際は点検等を行い、事故を未然に防ぎましょう。

東北地域における配線器具の事故は、延長コードによる事故が10件、コードリールによる事故が1件発生しています。そのうち、軽傷事故が2件、拡大被害が7件、製品破損が2件であり、軽傷事故は2件とも延長コードから火花が出たことによる火傷であり、すべての事故は出火による更なる被害へ拡大していた危険性のある事故です。また事故原因は、「設計、製造又は表示等に問題があったもの」が7件発生しており、7件すべてが社告対象で製品の回収を行っているものでした。

テレワークの普及でパソコンへの電源、タブレット端末やスマートフォンへの充電、外部モニターへの出力などで、多くのコンセントが必要になってきていることと思います。コンセントの差し込み口にホコリが溜まっていないか、水分がかかっていないか、あるいは机や椅子で電源コードを踏んでいないか、無理な曲げなどが無いかなど、使用上で注意すべきことをよく確認し、特に社告で回収している製品かどうかも時には確認するようにして、配線器具の事故を未然に防ぎましょう。

(※1) テーブルタップ、延長コード及びマルチタップなど。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。



(イメージです。)

表1 配線器具での年別事故発生件数

発生年 \ 発生県		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2016年		0	0	1	0	1	2	4
2017年		1	1	0	0	2	0	4
2018年		0	0	0	0	1	0	1
2019年		0	0	0	0	0	0	0
2020年		0	0	1	0	0	0	1
2021年		0	0	1	0	0	0	1
合計		1	1	3	0	4	2	11

表2 配線器具での事故の被害状況別発生件数

被害状況 \ 発生県		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡		0	0	0	0	0	0	0
重傷		0	0	0	0	0	0	0
軽傷		0	0	0	0	1	1	2
拡大被害		1	1	2	0	2	1	7
製品破損		0	0	1	0	1	0	2
被害なし		0	0	0	0	0	0	0
合計		1	1	3	0	4	2	11

表3 配線器具での事故の原因区分別発生件数

原因区分 \ 発生県		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	1	0	0	0	4	2	7
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	1	0	0	0	1
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	2	0	0	0	2
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0	0	0
G1、G2: 原因不明のもの		0	1	0	0	0	0	1
H: 調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合計		1	1	3	0	4	2	11

2. 主な事故事例

○2016年8月27日 延長コード(福島県、年齢性別不明)

事故内容: 延長コードを使用中、コードコネクターボディ付近から火花が出て、手の甲に火傷を負った。

事故原因: プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、コードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。(同様な事故原因によるい事故が計7件発生)

○2016年4月4日 延長コード(宮城県、70歳代男性)

事故内容: 使用中の壁コンセントに接続した延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因: 壁コンセントに延長コードの差込みプラグを長期間接続したまま放置していたため、接続部に埃等が蓄積し、トラッキング現象が生じて焼損したものと推定される。

○2017年8月10日 延長コード(岩手県、年代性別不明)

事故内容: 当該製品に複数の電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 延長コードには、電気ポットとコーヒーメーカー以外に、電子レンジと別の延長コードが接続されており、更に別の延長コードにはパソコンとインクジェットのプリンターが接続されており、延長コードの電源プラグ付近で異常発熱して出火したものと推定されるが、異常発熱した原因が、接続可能な最大電力(1500W)を超えて多数の電気製品を接続し使用したことによるものか、カシメ不良によるものか不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

○2020年8月24日 コードリール(宮城県、年齢不明男性)

事故内容: 倉庫で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。

事故原因: コードリールのコンセント部を電流容量の大きい既設フォークリフト用の平型コネクターに使用者の依頼で販売業者によって改造されおり、規格電流値以上の状態で使用されたため、内部の摺動接点部に過電流が流れ異常発熱し、出火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「分解、改造しない。」旨、記載されている。

○2021年7月8日 延長コード(宮城県、50歳代女性)

事故内容: コンセントに差し込んだ延長コードの差込みプラグが焦げて変形していた。

事故原因: 延長コードの栓刃と金具を固定するリベット部で接触不良が発生し、発熱、発火に至ったものと推定されるが、接触不良の原因が製造時の不具合によるものか、繰り返しの可動によるものかは焼損も著しく、原因の特定には至らなかった。

3. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

今回のプレスリリースを作成していて一番気になったのは、東北地域での配線器具の事故11件中に、7件がリコール対象品であったことでした。製品をお使いになっていたユーザーさんにリコール内容が伝わっていたら全て防げた事故です。大型の家電や自動車・バイクなどと異なり、製造業者はユーザーを把握できないことが多く、テレビCMやHPにアップしたとしても、すべてのユーザーに絶対伝わるとは限りません。

このあたりに何か画期的な工夫で皆様にリコールをお伝えし、事故を防ぐすべが何かあるように思いますが、現時点では凝り固まった私の頭ではよいアイデアも思い浮かばず、でも、もっともっと周知できるよう考えたいと思います。このペーパーをご覧になって、良いアイデアが浮かんだ方は、ぜひ下のメールアドレスへお知らせ下さい〜^^;

さて、冬季五輪での日本選手の活躍に寒さも吹き飛ばして応援していましたが、この五輪も終わり、いよいよ春に近づいていきそうです。日に日に日が長くなるのは、朝夕なんか嬉しいですし、日の長さに合わせて、寒さも少しずつ緩んで春が待ち遠しくなりました。子供の頃は、「何この苦い天ぷら！まずっ！」って思っていたフキノトウの天ぷらも待ち遠しいこの頃、年度末で何かと忙しい時期ではありますが、時には立ち止まったり、振り返ったりしながら、何か危ないことなど無いか安全確認し、良い春を迎えましょう〜

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE)

責任者(支所長): 菊地 徹

担当: 齋藤(さいとう)、照井(てるい)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

